



偉大な県人たち

明治から大正、昭和へ。日本が近代化を遂げる時代の中で、
文化や産業の発展に大きく貢献し、目覚ましい活躍をした県人たちがいた。
たくましい精神力と行動力で邁進した彼らの足跡をたどりながら、
いま一度、その功績を振り返ってみる。



放送管弦楽団の高階(前列中央)

近代音楽の黎明期にバイオリニストとしてデビュー。洋楽の普及や児童楽劇の育成、映画音楽など、音楽の可能性を広げ、今日に続く音楽芸術の基礎づくりを成し遂げたのが高階哲夫である。

高階は明治二十九年、滑川町(現滑川市)山王町で瀬木家の三男として生まれ、五歳のときに高階家の養子となる。両家とも教員の家庭であったこともあり、富山県師範学校(現富山大学)を卒業後、教員となる。しかし、師範学校時代に教えを受けた先生が東京音楽学校の卒業生で、富山にもゆかりの深い滝廉太郎のことをよく話したという。一旦教職に就いた高階がその道を捨て、東京音楽学校に進む決意をしたのは、このことも影響を与えたようだ。

名バイオリニストとして

日本の近代音楽の先駆者
たかしな てつ お

高階 哲夫

CONTENTS

VITA No.104

粹・いき・マイライフ	1
株式会社ジエイ・キャスト 代表取締役会長/CEO	
蜷川 真夫さん	
特集	4
偉大な県人たち	
健康きときと講座	12
楽しく体操	13
とやま恵みの名水	14
おすすめー文化情報	15
私の作品(投稿募集)	16
おたより倶楽部(投稿募集)	18
いきいき長寿センターインフォメーション	20
日々雑感(レーエッセイ)	28
素敵な仲間たち	29
気分はナチュラリスト	30
伝承を訪ねて	32
いきいきシア(インタビュー)	34
越中とやまのお宝	36
まちがいさがし	38
ごちそう富山	39
ぶらり見て歩き	40
とやま花歳時記	44

VITA(ビタ)とは「命・人生・生涯・活力」などを表すラテン語です。県民誰もが「いきいきとして美しい長生き人生」を楽しむことができるように、という富山県いきいき長寿センターの設立趣旨を表現しました。